

ワンタッチテント T3-79

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

組立方法はWEBページ上に動画や画像でわかりやすく解説しております。詳しい組立方法を知りたい方はこちらから各製品ページをご確認ください。



DOPPELGANGER OUTDOOR

検 索

<http://www.doppelganger-sports.jp/>



DODの新製品情報などについては下記SNSもご覧ください。



※DOPPELGANGER OUTDOORは地球環境保護のためペーパーレス化を推進しています。

ご使用上の注意（ご使用前に必ずお読みください）

使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に書かれた警告注意事項を必ずお守りください。

- 本製品は、日よけ・小雨よけなど一時的な使用を目的として設計されています。常設にしたり強風や大雨、降雪時には絶対に使用しないでください。
- 各部の構成をよく把握し、組立順序に従って取扱ってください。
- 解体・撤去の際には、組立の逆の順序で必ず行い、手や指を挟まないようご注意ください。
- 組立設置及び、解体撤去に際しては、安全の為、手袋を着用してください。
- 小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- テント、タープ内で火気を使用したり、高温に加熱されたものを持ち込まないでください。火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険がある場所には設営しないでください。
- 台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営をしないでください。
- 電線の近くで組み立てや設営をしないでください。感電する恐れがあり大変危険です。
- 本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業はさせないでください。
- 組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際は、水はけがよく平らな場所を選んでください。
- 石や小枝などのテント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- ペグやロープでしっかりと地面に固定してご使用ください。
- 風の強い時はテント、タープを設営しないでください。本体が飛ばされて本体が破損したり人に怪我を負わせるなど、思わぬ事故の原因となります。

収納、保管について

- 使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食、劣化、防水/撥水機能の低下の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- 本体や収納袋は洗濯しないでください。
- 幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

シームシーリング剤による目止めについて

製品の構造上、雨量によっては縫い目やジッパーの合わせ目から浸水する場合があります。必要に応じて縫い目にシームシーリング剤（目止め液）を塗布してください。また定期的に点検をおこない、シームシーリング剤が剥離してしまった場合には塗布し直してください。

結露について

テントやタープの生地には防水加工が施されており、外気との温度差が大きくなると生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。呼吸などにより室内の水蒸気濃度（湿度）が高くなった場合、特にスカート付きなどの気密性の高いテントに起こりやすく、これらは定期的に換気をおこなうことで改善することができます。

撥水・防水性能について

撥水・防水加工の生地を使用しておりますが、ご使用を重ねると徐々に機能が低下します。撥水性が弱まった場合は市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。



防水加工のポリウレタン（PU）コーティングは濡れたまま保管した場合、加水分解を起こし生地を劣化させる恐れがあります。また防水加工を施していても地面の水たまりや長時間の雨など長時間接触していると雨水がしみ込む場合があります。

グランドシートの併用について

テントの汚れやキズ、雨水の浸水などを防ぐためグランドシート（テントの下に敷くシート）の併用をおすすめします。グランドシートがない場合は、ビニールシートやブルーシートでも代用できます。

各部の名称およびセット内容



- ① テント本体
- ② トップシート
- ③ テントポール
- ④ ジョイント部
- ⑤ ペグ
- ⑥ ストームロープ
- ⑦ キャリーバッグ

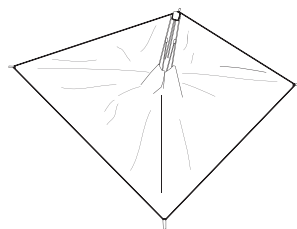
【素材】

フライシート、インナーテント：ポリエステル
フロア：PE
ポール：グラスファイバー

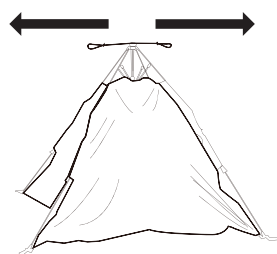
【原産国】

中国

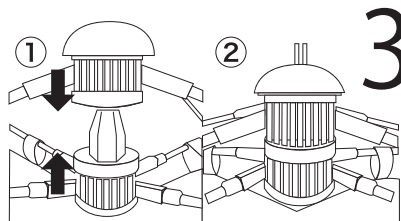
設営方法



1 インナーテントをキャリングバッグから取り出し、安定した地面へ置きます。コンクリートなどの硬い地面の上へテントを置くと、地面との摩擦によりテント生地が破損することがありますのでご注意ください。アンダーシートの併用をおすすめします。折り畳み傘の骨組みを伸ばす要領で、テントのポール4本を伸ばし、生地を広げます。



2 テント骨組中心のジョイントをできるだけ高く持ち上げ、ジョイント上部から出ているロープ2本を左右の手に持ち、ロープを引き出します。ロープを引くと同時に、テントポール・骨組がせり上がります。このとき、布地がポールやジョイントに絡まったり、挟まったりしていないことを確認してください。布地が絡まったり挟まったりした状態で無理に組み立てると、布地やポールの破損の原因となります。



3 左図①→②の順に、ジョイント上下が隙間なく結合するまでロープを引き出します。



4 付属のペグをポール先端部4カ所に打ち込み、インナーテントの組み立てが完了になります。

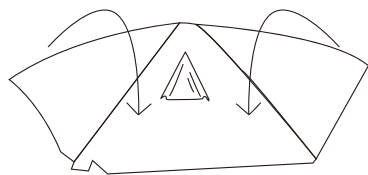


5 フライシートのグリーンロゴが付いている側を入口側にして、インナーテントにかぶせます。フライシートとインナーテントの四隅が重なるように調整してください。

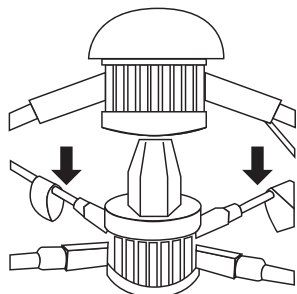


図1 状況に応じて付属のペグ、ストームロープを使用して、テントを固定してください。また左下図1のように、付属のタープポールを設置することで、フライシート入口フラップを日よけとして前に出すことができます。

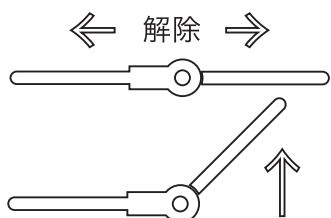
撤収方法



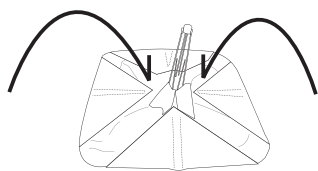
- 1** フライシートに付いている全てのペグ、ストームロープを取り外し、両側から中心に向かって折りたたみ、キャリングバッグより少し狭い幅にします。



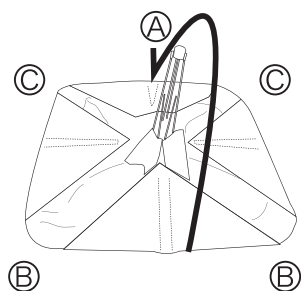
- 2** インナーテントをたたみます。インナーテントのペグを外し、下部ジョイントのフレーム（赤色の「PUSH DOWN」と書かれたタグが付いています）を両手で握り下に押し下げ、ジョイントを上下に分割します。



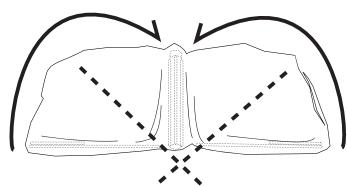
- 3** ジョイント部を立てたまま、各ポールを折り曲げます。ポールにはロック機構があります。伸ばすように引っ張るとロックが解除されます。
※ジョイント部を立てずに倒した状態で、ポールを折り曲げると、ポールのヒンジがよじれ、破損の原因となります。



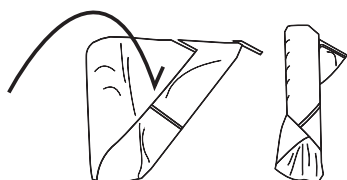
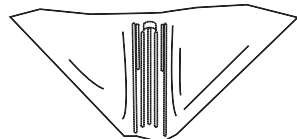
- 4** ジョイントを①のポールに重ねるように倒し、角②を角③に重ねて二つ折りにします。ジョイントを倒すときなどフロア部分が引っ掛かったり突っ張ったりする時がありますが、無理に折り曲げず、フロア部分を少し持ち上げるようにすると、引っ掛かりがとれます。



- 5** 左下の図のように、点線部分で谷折にし逆三角形にします。このとき、左右のフレームは中央のジョイント部に重ねずに、両脇に平行に並べます。



- 6** 左角を右側に折り、ジョイントを中心に左から右に丸めます。折りたたんだフライシートをインナーテントに巻きつけ、キャリングバッグに収めます。



撤収前に本製品を太陽に当てよく乾燥させてください。無風の時であれば、テントをひっくり返し底部を太陽に当ててください。キャンプサイトでの乾燥ができない場合は、帰宅後すみやかに乾燥させてください。